

令和6年5月30日
水管理・国土保全局
水資源部 水資源計画課

「豊川水系における水資源開発基本計画」の骨子案について審議します ～リスク管理型の計画へ向けた抜本的な見直し～

6月5日(水)に第8回国土審議会水資源開発分科会豊川部会を開催し、リスク管理型の計画への見直しに向けた「豊川水系における水資源開発基本計画※(骨子案)」を審議します。

危機的な渇水、大規模自然災害、施設の老朽化・劣化に伴う大規模な事故など、近年、水資源を巡るリスクが顕在化している状況を踏まえ、平成29年5月の国土審議会の答申で、従来の需要主導型の「水資源開発の促進」からリスク管理型の「水の安定供給」へと、水資源開発基本計画を抜本的に見直す必要があることが提言されました。

これを受けて、水資源開発基本計画の全部変更を7指定水系において順次進めています。(吉野川水系、利根川・荒川水系、淀川水系、筑後川水系については変更済み。)

今般、豊川水系(別紙1参照)について、リスク管理型の計画への見直しに向けた審議を行いますのでお知らせします。

※ 水資源の総合的な開発及び利用の合理化の基本となる計画で、水資源開発促進法に基づき全国で6計画(利根川水系及び荒川水系、豊川水系、木曾川水系、淀川水系、吉野川水系、筑後川水系)を策定。

- 日時： 令和6年6月5日(水) 15:00～17:00
- 場所： 中央合同庁舎3号館1階 水管理・国土保全局総務課内会議室(オンライン併用)
(千代田区霞が関2-1-3)
- 委員： 別紙2のとおり
- 議題： (1) 第7回豊川部会における主な意見について
(2) 豊川水系における水需給バランスの点検について
(3) 2県における渇水・大規模自然災害・施設の老朽化等に対する取組状況について
(4) 次期「豊川水系における水資源開発基本計画(骨子案)」について
(5) その他
- その他：
 - 本会議は、会議室における対面形式とWEB形式を併用して実施する予定です。
 - 傍聴については、WEB形式とさせていただきます。回線容量の都合上、傍聴の接続は1人・1社(団体)につき1回線までとさせていただきます。通信状況等により映像の乱れや一時的な停止があることをあらかじめご了承ください。
 - 傍聴を希望される方は、6月4日(火) 12:00までに以下の送付先までメールにてご連絡ください。ご連絡頂いた方にWEB傍聴用のURLと資料を送付します。なお、希望者が多数の場合は、先着順とさせていただきますのでご了承ください。

件名：【傍聴希望】第8回国土審議会水資源開発分科会豊川部会
本文：氏名(ふりがな)、所属、連絡先
送付先：hqt-mizushigen-k@ki.mlit.go.jp

- 会議の資料及び議事録は後日、以下の国土交通省ホームページに掲載します。
https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s103_toyokawa01.html

<問い合わせ先>

水管理・国土保全局 水資源部 水資源計画課
企画専門官 中邨(内線31203)、課長補佐 今津(内線31224)
TEL:03-5253-8111(代表)、03-5253-8387(直通)

〔平成18（2006）年2月全部変更〕

現行「豊川水系における水資源開発基本計画」の概要

1. 水の用途別の需要の見通しと供給の目標

- (1) 目標年度
平成27（2015）年度目途
- (2) 供給地域
豊川水系に水道用水、工業用水及び農業用水を依存している静岡県、愛知県の諸地域
- (3) 水の用途別の需要の見通し
 - ◆ 水道用水：約 4.5 m³/s
 - ◆ 工業用水：約 1.6 m³/s
 - ◆ 農業用水：約 0.3 m³/s（新規需要）
- (4) 供給の目標
近年の降雨状況等による流況の変化を踏まえた上で、地域の実状に即して安定的な水の利用を可能にする。
 - ◆ 供給可能量
 - ・ 近年の20年に2番目の渇水年の流況：約6.5m³/s
 - ・ 計画当時の流況：約7.9m³/s

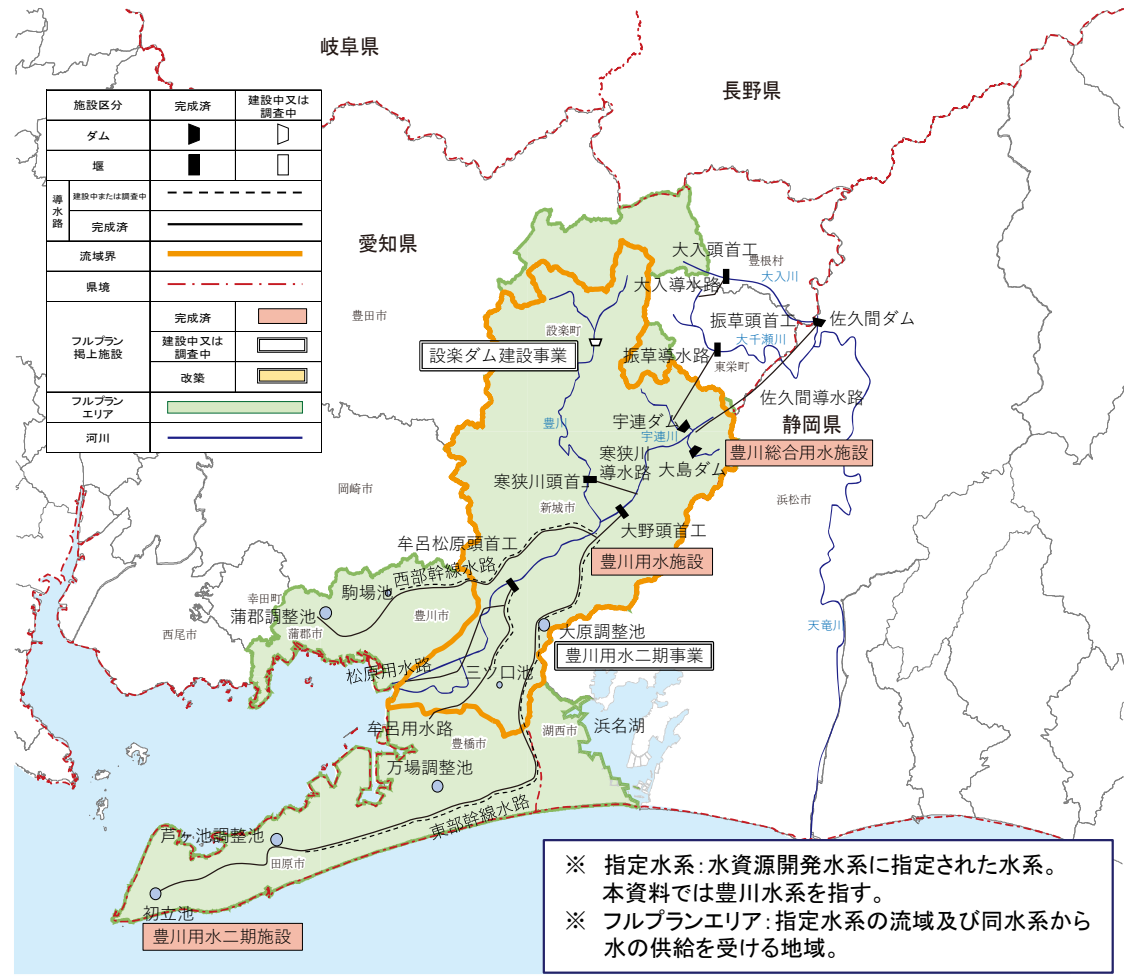
2. 供給の目標を達成するため必要な施設の建設に関する基本的な事項

- (1) 設楽ダム建設事業
洪水調節及び流水の正常な機能の維持を図るとともに、愛知県にて必要となる農業用水及び水道用水を確保するもの。
- (2) 豊川用水二期事業
豊川用水施設の幹線水路等の老朽化、大規模地震等に対処するため、改築を行うもの。

3. その他水資源の総合的な開発及び利用の合理化に関する重要事項

- ・ 水源地域の活性化
- ・ 健全な水循環の重視（河川環境の保全等）
- ・ 地下水の適切な保全と利用
- ・ 水利用の合理化（漏水の防止、回収率の向上、再生利用等）
- ・ 渇水に対する安全性の確保
- ・ 水質及び自然環境の保全への配慮

豊川水系における水資源開発施設とフルプランエリア



4. 変更の経緯

- H 2. 2. 9 水系指定
- H 2. 5. 17 基本計画策定（水需給計画決定、設楽ダム、豊川総合用水、豊川用水施設緊急改築）
- H11. 4. 7 一部変更（豊川用水二期の追加、豊川総合用水の事業主体変更等）
- H18. 2. 17 全部変更（水需給計画変更）
- H20. 6. 3 一部変更（豊川用水二期の工期変更）
- H27. 12. 18 一部変更（豊川用水二期の工期変更）
- R 5. 1. 31 一部変更（設楽ダムの工期変更、豊川用水二期の変更）

国土審議会 水資源開発分科会 豊川部会 委員名簿

区分	氏名	現職
委員	木場 弘子	フリーキャスター、千葉大学客員教授
特別委員	○ 辻村 真貴	筑波大学生命環境系教授
	◎ 戸田 祐嗣	名古屋大学大学院工学研究科教授
専門委員	井上 隆信	豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授
	千家 正照	岐阜大学名誉教授
	種村 充誉広	元(財)愛知水と緑の公社理事
	戸田 敏行	愛知大学三遠南信地域連携研究センター長・教授
	豊田 康嗣	(一財)電力中央研究所サステナブルシステム研究本部気象・流体科学研究部門長 副研究参事
	溝口 敦子	名城大学理工学部教授、東北大学災害科学国際研究所教授
	溝田 大助	(公財)愛知・豊川用水振興協会理事・技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理) ※敬称略・五十音順